

今日、京響?

Kyoto Symphony Orchestra

# 京都市交響楽団 スプリング・コンサート

The Spring Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

～京都ゆかりのソリストたちと贈る  
コンチェルト&「新世界より」～

©伊藤菜々子

2019 **4/7** 日

午後2時30分開演(午後1時30分開場)

Sunday, April 7, 2019 / 2:30 p.m.

## 京都コンサートホール *Kyoto Concert Hall*

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

### Program

ヴィヴァルディ：2つのトランペットのための協奏曲ハ長調

Vivaldi : Concerto for 2 trumpets in C major

[独奏：ハラルド・ナエス&西馬健史 (トランペット)]

ベートーヴェン：ヴァイオリン、チェロ、ピアノのための三重協奏曲ハ長調op.56

Beethoven : Concerto for violin, cello, piano and orchestra in C major "Triple Concerto" op.56

[独奏：豊嶋泰嗣 (ヴァイオリン)・上村昇 (チェロ)・上野真 (ピアノ)]

ドヴォルザーク：交響曲第9番ホ短調「新世界より」op.95

Dvořák : Symphony No.9 in E minor "From the New World" op.95

2019 1/18 盒から発売

入場料  
(全席指定)

A ¥2,000 B ¥1,500

### プレイガイド (電話予約)

- ・京都コンサートホール (075) 711-3231
- ・ロームシアター京都 (075) 746-3201
- ・24時間オンラインチケット購入 <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>
- ・チケットぴあ (0570) 02-9999 Pコード：133-272

■ 1歳以上未就学のお子様は、「託児ルーム」(有料/定員10名)をご利用ください。

(お子様お1人につき1,000円/2019年3月29日までに京響075-711-3110へお申し込みください)

### お問い合わせ

京都市交響楽団 (075) 711-3110 <https://www.kyoto-symphony.jp/>  
京都コンサートホール (075) 711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>

◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



©Naoya Yamaguchi

指揮 **下野 竜也**(京響常任首席客演指揮者)

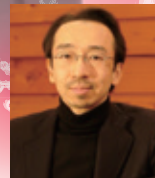
Conductor : Tatsuya Shimono (Principal Guest Conductor of KSO)



豊嶋泰嗣 (ヴァイオリン)  
Yasushi Toyoshima (Violin)



上村昇 (チェロ)  
Noboru Kamimura (Cello)



上野真 (ピアノ)  
Makoto Ueno (Piano)



ハラルド・ナエス(トランペット) **西馬健史**(トランペット)  
Harald Næss (Trumpet) Takeshi Nishiuma (Trumpet)





# 京都市交響楽団スプリング・コンサート

～京都で活躍する名手たちをソロに迎えて、春を彩る華やかな名曲を！～

「スプリング・コンサート」は、「学生の街・京都」「文化の街・京都」にふさわしく、学生や市民の皆様気軽にリーズナブルにクラシック音楽をエンジョイしていただくコンサート。2019年度は常任首席客演指揮者・下野竜也の指揮のもと、ドヴォルザークが新世界アメリカでの生活や印象をもとに作曲した名曲、交響曲第9番「新世界より」で春から新生活をスタートする方々にエールを送るほか、前半は京響トランペット奏者がソロを務めるヴィヴァルディの「2つのトランペットのための協奏曲」と、ベートーヴェンの「三重協奏曲」では京都ゆかりの名手たちが登場して華やかに共演します。美しい桜が咲き誇る春の京都にぴったりの「スプリング・コンサート」を、皆様どうぞお楽しみに！

## 指揮 下野 竜也 (京響常任首席客演指揮者)

Conductor : Tatsuya Shimono (Principal Guest Conductor of KSO)



©伊藤菜々子

1969年鹿児島生まれ。鹿児島大学教育学部音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部附属指揮教室で学ぶ。1996年にはイタリア・シエナのキジアーナ音楽院でオーケストラ指揮のディプロマを取得。1997年大阪フィル初代指揮研究員として、(故)朝比奈隆氏をはじめ数多くの巨匠の下で研鑽を積む。1999年文化庁派遣芸術家在外研修員に選ばれ、ウィーン国立演劇音楽大学に留学、2001年6月まで在籍。2000年東京国際音楽コンクール(指揮)優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年プザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴び、以降、国際的な活動を展開。国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、海外においても、ローマ・サンタ・チェチーリア管、ロワール管、シュツットガルト放送響、シリコンバレー響など次々と客演を重ねている。読売日本交響楽団の初代正指揮者(2006年11月～2013年3月)を経て、同団首席客演指揮者(2013年4月～2017年3月)を務めた。その間、2011年に広島ウインドオーケストラ音楽監督、2014年4月には京都市交響楽団の常任客演指揮者に就任し、2017年4月からは同団常任首席客演指揮者に就任。2017年4月広島交響楽団音楽総監督に就任。京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授。

公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>

## 京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra



©伊藤菜々子

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月から常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーと京都市内で「ふらっとコンサート」を開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞受賞。2017年4月からは下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による3人指揮者体制を確立し、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

## ヴァイオリン 豊嶋 泰嗣 Violin : Yasushi Toyoshima



©大塚道治

桐朋学園で江藤俊哉、アンジェラの両氏に師事。86年、大学卒業と同時に新日本フィルのコンサートマスターに就任。その後もサイトウ・キネン・オーケストラ等でコンサートマスターを務めている。ソリストとしては、ベルリン放送響、モスクワ・ソロイスト、ロンドン・モーツァルト管等、国内外のオーケストラとの共演。室内楽奏者としては、ハレー・ストリング・ファルテットを結成し、00年までカザルスホールのレジデントファルテットを務めた。現在アルティ弦楽四重奏団のメンバーとして活躍。スターン、ヨーヨー・マ、アルゲリッチ、ズッカーマン、マイスキー等との共演を重ねている。現在、新日本フィルソロ・コンサートマスター、兵庫県立芸術文化センター管コンサートマスター、九州交響楽団桂冠コンサートマスター、チェンパー・ソロイスト佐世保 音楽監督。91年村松賞、第1回出光音楽賞、92年芸術選奨文部大臣新人賞受賞。京都市立芸術大学准教授。1719年製 アントニオ・ストラディバリウスを使用。

## チェロ 上村 昇 (京響ソロ首席チェロ奏者) Cello : Noboru Kamimura (Solo Cello of KSO)



京都を拠点に、オーケストラ奏者、室内楽奏者として、ソリストとして多面的な演奏活動を続けている。その豊かな演奏経験と人柄で多くの国内外の関係者、音楽仲間にあえられる音楽家。1977年日本音楽コンクールで第1位となった後、第6回カサド国際チェロ・コンクールで優勝。東京と京都でJ.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲全曲公演を行う。91年ノイマン指揮のチェコ・フィルハーモニー管弦楽団と共演した。演奏活動の中で特筆されるのは、98年京都府民ホール・アルティの開館10周年を記念して結成されたアルティ弦楽四重奏団(ヴァイオリン：豊嶋泰嗣/矢部達哉、ヴィオラ：川本嘉子、チェロ：上村昇)の活動。今や名実ともに日本のトップ・カルテットとしてその評価を確たるものにしていく。旺盛な演奏活動の傍ら、教育活動も30年以上に及び。現在、京都市立芸術大学名誉教授、桐朋学園大学及び大阪音楽大学特任教授。京都市交響楽団ゲストソロチェロ奏者。

## ピアノ 上野 真 Piano : Makoto Ueno



カーティス音楽院にて、J.ボレット、G.グラフマン、その後ザルツブルク・モーツァルテウムにてH.ライグラー氏に師事。メリーランド、ペーゼンドルファー＝エンパイア、ジュネーヴ、オルレアン20世紀、リヒテル等の国際コンクールで入賞。世界15か国で演奏を行う。近年は19世紀から20世紀初頭に作られた歴史的な銘器による録音に力を入れている。1816年製プロードウッドによるベートーヴェン・ソナタ集(2011)、1925年製ニューヨーク・スタインウェイによるラフマニノフとドビュッシー(2013)、1852年製エラールを使用したリスト・巡礼の年第2巻(2014)、1906年製ベヒシュタインでのワーグナー＝リスト、スクリャピン、シェーンベルク作品集(2016)、1927年製エラールを演奏したアルバム(2017)等をリリース。2019年にはブラームス作品集を発表予定。モシエレス、チェルニー、ベートーヴェン、ウェバーの室内楽作品の録音プロジェクトも進行中。京都市芸術新人賞、青山バロックザール賞受賞。京都市立芸術大学音楽学部教授。

## トランペット ハラルド・ナエス (京響首席トランペット奏者) Trumpet : Harald Næss (Principal Trumpet Player of KSO)



ノルウェー国立音楽院卒業。オスロ・フィルハーモニー管弦楽団・ベルゲン・フィルハーモニー管弦楽団、ノルウェー放送管弦楽団、スウェーデン放送交響楽団など、様々なオーケストラで演奏活動を行うと同時に、シモネ・ヤング、マンフレッド・ホーネック、レイフ・セゲルスラム、マリス・ヤンソンス、ヘルベルト・ブロムシュテットの指揮の下、ノルウェー国内外でツアーを行う。1994年より、オスロ・フィルハーモニー管弦楽団首席トランペット奏者であるヤン・フレデリック・クリスチャンセン氏に師事。ノルウェー王国海軍楽隊、兵庫県立文化センター管弦楽団を経て、現在、京都市交響楽団首席奏者。神戸女学院大学非常勤講師。

## トランペット 西馬 健史 (京響トランペット奏者) Trumpet : Takeshi Nishiuma (Trumpet Player of KSO)



神戸市出身。大阪音楽大学短期大学部卒業。第7回大阪国際音楽コンクール第2位、第25回日本管打楽器コンクール第4位。第84回日本音楽コンクール入選。2014年京都市交響楽団と共演。これまでにトランペットを宮村聡、故・岡元達志、茶屋淳子の各氏に師事。Schleswig-Holstein Musik FestivalにてMatthias Höflesのマスタークラスを受講。ガーマンブラス、七吹神喇叭倶楽部、各メンバー。関西トランペット協会理事。現在、京都市交響楽団トランペット奏者。